

## 第8コース：情報の伝え方～ファーマシューティカルケアの実践に向けて～

講師：長崎大学薬学部 中嶋幹郎教授、和田光弘准教授

ファーマシューティカルケアの概念から安全かつ有効な薬物療法の継続性を維持するには、常に患者さんや医療者とコミュニケーションをとりながら、医薬品の効果や副作用の評価を行い、処方へのフィードバックにつなげていく必要があります。そのためには患者さんや医療者から信頼される薬剤師になることが必須です。そこで本コース「情報の伝え方」では、臨床の場面で情報の収集や提供を行う際に活用できる「現場で使える効果的なコミュニケーションスキル」と「現場で役立つ問題解決法」の理解と修得を目指し、少人数での演習形式による学習を行います。

### 第1回 コミュニケーションスキル① 9/27（土）

概要：対人コミュニケーションの基本姿勢について説明し、コミュニケーションの基本技法（沈黙と促し、質問、傾聴）に関するモデリングを行った後、ペアで演習を行います。コミュニケーションを円滑に行うために必要な基本的な知識・技能・態度を修得することが目標です。

### 第2回 コミュニケーションスキル② 10/4（土）

概要：医療面接時に必要なコミュニケーションの留意点について説明し、医療面接への応用例についてモデリングを行った後、ペアならびにスモールグループによる演習を行います。医療面接時のコミュニケーションを円滑に行うために必要な基本的な知識・技能・態度を修得することが目標です。

### 第3回 PBL：薬剤師によるケア計画① 10/18（土）

概要：PBL（Problem Based Learning）形式にのっとり、グループ内で与えられた患者情報から問題点及び自己学習項目を抽出し、その解決方法を議論します。疾患毎の薬剤師としてのケア計画立案が最終の到達目的です。

### 第4回 PBL：薬剤師によるケア計画② 10/25（土）

概要：前回に抽出した自己学習項目について10分程度の発表を行います。この他、新規の患者情報について問題点を抽出し、その解決方法を議論します。レポート課題あり。